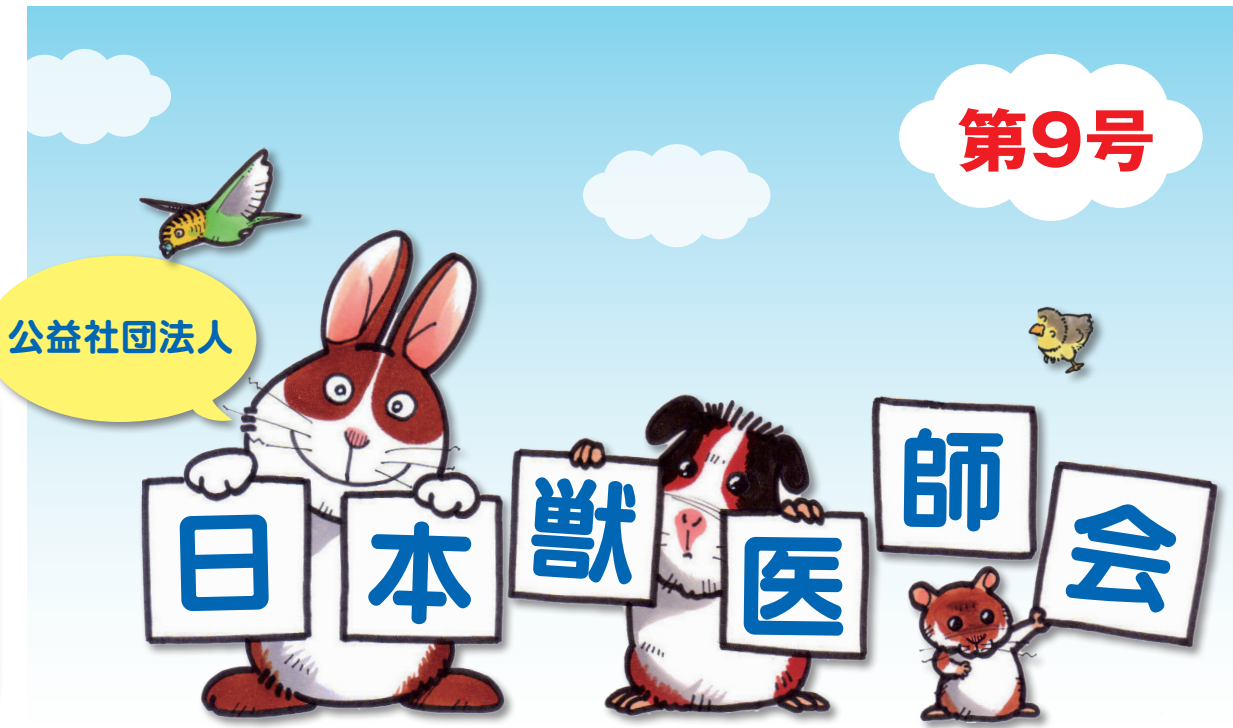


# がっこう動物新聞



第9号

公益社団法人

日本獣医師会

地震

水害

新型コロナウイルス

## いざという時、学校の動物は？

まずは自分自身の安全が最優先

- 先生やおうちの人がある時は、指示にしたがおう。
- 子供だけにいる時は決められた約束を思い出して自分の身を守ろう。



安全な場所に避難出来たら

避難所や自宅避難、慣れない環境はたいへんだけど、まずは一安心。そこで思い出してほしいのが学校の動物のこと！



電車が止まっているから先生も学校に来られないよ

災害が起きた時、学校が急に休みにになった時に、

### 学校の動物をどうするか

学校に避難している僕たちなら動物のお世話ができる

あらかじめ話し合っておくことが大切です。

#### 保谷二小の取り組み

今年の春、新型コロナウイルス感染対策で学校が臨時休校になりました。西東京市立保谷第二小学校では、平日は先生、休日はおやじの会が中心となって、おうちの人や地域の人も協力して動物のお世話をしました。大人の心にも「命の学び」がしっかりと根付いているからこそその活動であり、子供たちにとって最良のお手本となっています。



ウサギとチャボのお世話の様子。おやじの会の繋がりです卒業生も手伝いに来てくれました。

#### 災害時動物救護本部

これまで大きな災害が起こった時には、自治体と地域の獣医師会が動物救護本部を設置して、放浪動物の対策やペットの飼育支援を行って来ました。学校などの避難所の巡回相談なども行う場合がありますので、学校動物についても相談してみてください。

日本獣医師会は、学校の動物飼育活動を応援しています。学校で飼育している動物の病気や怪我、お世話の仕方など遠慮なく近くの獣医師会にご相談ください。



〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル西館23F  
TEL 03-3475-1601 FAX 03-3475-1604